

企業の使途不明金の法規制などを求める意見書案を提出したが、自民、新政、公明、社会は、

これに反対、否決した。これは、これらの党派がひきつづき、金権腐敗一掃の国民の願いを選挙制度にすりかえて、「小選挙区比例代表並立制」導入を柱とする「政治改革政権構想」などに浮き身をやつしている姿を示すものであり、絶対に許すことはできない。

わが議員団は、国民とともに、力を合わせて小選挙区制導入を許さず、金権腐敗政治一掃のカギである企業・団体献金の禁止実現のために

力を尽くすものである。

## 府民要求実現のために府政の転換を

京北町のゴルフ場開発の破綻による町の負担増大は、京都財界のいいなりでゴルフ場の規制強化の直前に強引に駆け込み申請をさせたため、また、西陣の衰退原因の一つは、海外生産・逆輸入を野放しにしてきたためであり、山陰本線

の複線電化の遅れは、三度にわたる自民党の政策転換や横槍のためであることを事実に基づいて明らかにした。そのほか農業切捨ての自民党農政への追従、「解同」いいなりの同和行政など、府民生活の向上と民主主義の前進のためには、自民党府政の転換が必要であることを明らかにしてたたかった。

また、わが議員団は、障害者のまちづくり条例の早期制定を要求したが、当局ははじめて「積極的に進めていく」と答え、実現へ大きく踏み出した。

わが議員団は、府民要求実現、府政の転換をめざして、ひきつづき府政の実態を府民の前に明らかにするとともに、要求実現のために一層奮闘するものである。

## 府民不在の、自、新、公、

### 社による議会役員選出をめぐる密室協議

もともと今定例会は、不況対策のための補正予算を重点として招集されたものであった。ところが、自民、新政、公明、社会は、議長・副議長の候補選出をめぐって、延々と密室協議に明け暮れ、会期を一日延期するという、府民不在の姿をさらけ出した。わが議員団は、与党各派のこのようなり方に抗議してたたかったが、今後とも民主的な議会運営を求めて奮闘するものである。

## 議会役員人事の密室協議で、不況対策予算成立を遅らせる与党に抗議する

一九九三年七月二十三日 日本共産党京都府議会議員団

府議会は、本日二十三日本会議を開いて議案等の議決をして閉会の予定であったが、自民党、新政会、公明党、社会党の与党四党派が、議長、副議長の候補者選定をめぐって、密室協議をつづけ、難航したために、本日閉会することができなくなった。

もともと、今定例会は、「依然として低迷をつづける府内の経済情勢や円高に伴う京都産業への影響などをふまえて」「緊急に措置すべき」不況対策府会として招集されたものである。しかも、総選挙、京都市長選挙という緊迫した政治日程にはさまれるなど、審議時間の確保も困難ななかでの開催となった。わが議員団は、不況対策予算の早期成立などのため、効率的な審議の促進に、最大限協力してきた。

ところが、与党四党派は、不況対策などのすべての議案が審議終了し、採決を残すのみとなっていたにもかかわらず、正副議長候補選定のため、時間延長をおこなったうえ、延々と密室折衝をつづけ、会期不足に至り、議会運営委員会も開かず、これら四党派だけで本会議を開催、会期延長を強行した。

わが議員団は、このことに強く抗議するとともに、直ちに議案及び議会役員選出の表決をおこない、公正・明瞭に決することを求めるものである。